

令和6年度 農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち
地域資源活用価値創出推進事業(地域活性化型)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和6年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)のうち地域資源活用価値創出推進事業(地域活性化型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記1の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和6年度に交付金事業を実施した近畿農政局管内の2地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が1地区、総合的に低調と認められる地区が1地区との評価結果となった。
総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

3. 各地区の評価結果

2件(うち1地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

【令和3年度採択】

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
近畿	京都府	京丹後市	まるっば間人プロジェクト推進協議会	／	／	●	●	● ■ ▼	▲	／	／	A	総合的に事業実施の成果は優良と認められる。

【令和6年度採択】

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
近畿	滋賀県	高島市	在原区保全協議会	／	／	／	／	／	●	○ △	○ □	C	総合的に事業実施の成果は低調と認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
ハード対策 ☆…交付対象年度(計画) ★…交付対象年度(実施済) ◇…目標年度(計画) ◆…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調 評価対象外…評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金(地域資源活用価値創出対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:丸山 政行(一般財団法人京都大学名誉教授森下正明研究記念財団代表理事)
委員:牛尾 洋也(龍谷大学法学部法律学科教授)、副島 久実(摂南大学農学部食農ビジネス学科大学教授)

【令和7年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和7年7月22日(火) 13:00~14:00 2 場 所 :輪の里(北摂丹波アップストリーム協議会) 3 議事概要 ① 令和6年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和6年度に事業を実施した地区の取組概要、評価案及び評価が低調と認められる1地区に対する重点指導案に関して説明した。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の、重点指導結果に関して説明した。 4 主な意見 特になし。
第2回評価委員会
1 日 時 :令和7年8月5日(火) 13:30~14:30 2 場 所 :近畿農政局第3会議室(WEB併用) 3 概 要 ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和6年度に事業を実施した2地区の評価案等に関して、了承を得た。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区の重点指導結果に関して、了解を得た。 4 主な意見 地域の活性化を推進していくには、周囲の協力が絶対的に必要であり、真に寄り添った人材がいないと実質的に難しい。 今後、取組を進めて行く上では、農政局や府県、市町村等にも積極的に助言を求める事も必要。